

線

2014
号外

Line

書写力向上宣言 宮本榮信 × 尾崎靖二

子どもたちに文字の大切さを

～デジタル教科書で授業を活性化～

小学書写 教師用デジタル教科書 Q&A

日文の実践事例、教科情報

詳しくはWebへ!

日文

検索

未来をにう子どもたちへ

日本文教出版



表紙にもかざしてみてね。



スマートフォンやタブレットをかざすと動画が楽しめる!

- 1 スマートフォンまたはタブレットで、ストアアプリを起動します。
- 2 「カザスマート」で検索し、アプリをダウンロード。
- 3 「カザスマート」アプリを立ち上げます。
- 4 マークがあるページで紙面にかざすと、動画が始まります!



※動画は、2014年5月31日まで視聴することができます。



Q.1 どのように入手できますか？

A. 各学年の「教師用指導書」付録CD-ROMに収録されています。
CD-ROMには、

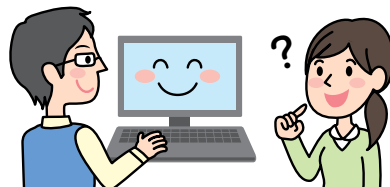
- 一・二年用
- 三・四年用
- 五・六年用

の3種類があります。



Q.2 使用制限はありますか？

A. 校内フリーライセンスです。購入された学校または教育機関の同一施設内に設置されたコンピュータであれば、自由に使用できます。



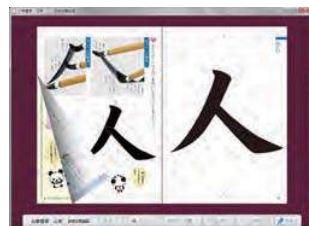
Q.3 どのようにして使用するのですか？

A. パソコンにCD-ROMをセットし、インストールして使います。詳細は取扱説明書「ユーザズ・ガイド」をご覧ください。



Q.4 どのようなことができますか？

A. パソコンの画面上で、ページをめくったり、紙面を拡大したり、書き込んだりすることができます。電子黒板とパソコンを接続すれば、大画面に投影して授業することも可能です。



Q.5 そのほか、どんなデジタルコンテンツがありますか？

A. 筆使いの動画を見たり、点画ピースで字形や配列を確認したりすることができるコンテンツが収録されています。



Q.6 教科書が改訂されると、どうなりますか？

A. 教科書の改訂（平成27年4月）にともない、デジタル教科書も新しくなります。学校現場の指導をサポートする新しい機能は、**5月発行予定の「線 Line」教科書特集号にてご紹介**します。

ご期待ください！



宮本榮信 × 尾崎靖二

文字の大切さを で授業を活性化～

みや もと しげ のぶ ほく どう
宮本榮信(墨童)

元大阪府千早赤阪村立千早小学校校長。「墨童書道会」主宰。大阪府教育委員会指導主事、大阪府内の公立幼・小・中の校園長、大阪府市小・中学校書写教育研究会会長などを歴任。



「お手本」は「自分の文字」を もつためのモデル

尾崎

授業の現場を見ると、「文字を書くこと」の意味を意識しながら授業を実践されている方が非常に少ないという印象を受けることがあります。国語科に限らず、学習活動の中では文字を書かないことはまずないといっているにもかかわらず、授業の実践の場ではどうしても教科の内容が中心になりがちで、文字使用については意識的に考えられていないようです。

宮本

私も現場に関して、いくつかの課題を感じています。特に、子どもたちの書く姿勢や鉛筆などの筆記具の持ち方、道具の扱い方が適切になされていないことを危惧しています。「持ち方や姿勢はどうでもいい。文字は書ければそれでいい。」という一面合理的な誤解があるのかもしれませんが、やはり基礎的なこととして必要ではないでしょうか。

また、「自分は文字をうまく書けないので、書写を指導するのは苦手だ」と感じる先生がいらっしゃるようです。教科書に出てくるような迫力のある文字を書いたり、書かせたりしなければならぬという先入観があるんですね。書写指導に対する先生方の意識にも問題があるのかもしれない。

日文教育資料「線 Line」で、「書写のココが知りたい」と「国語からの提言」をご担当いただいたお二人に、教育現場での書写指導のあり方について、お話をうかがいました。

尾崎

今、おっしゃったことは非常に重要なことです。書写の授業は、国語科書写という位置づけでありながらも、独立した教科としての「書道」をどうしてもイメージしてしまいますから、先生方は「お手本」の文字自体に尊さを感じてしまいがちです。しかし、書写は「お手本」を書き写したり、なぞったりすることが目的ではありません。子どもたちが「お手本」の文字に含まれている「書き方のコツ」というようなものを学び取って、そこから学んだことがいったん子ども一人一人の意識の中をくぐったうえで表現されて、はじめて「自分の文字」になるのです。ですから、先生方には「お手本は、子どもたちが『自分の文字』をもてるようになるための知識や技能がつまったモデルである」という認識をぜひもっていただきたいですね。

授業をサポートする デジタル教科書の便利な使い方

宮本

ただ「お手本」をなぞっていれば書写の授業が成り立つという現場の意識を変えるためには、教科書は惜しめない工夫を続けていかなければなりません。また、「書写の指導が苦手」と感じていらっしゃる先生たちを助け、容易に授業を行えるように支援していくことも、教科書が果たす大きな役割ではないかと思っています。

尾崎

たしかに今の先生方は非常に多忙で、子どもたちと関わる時間がないといわれていますから、先生方へのサポートは重要な課題ですね。そうした意味では、デジタル教科書などのICT活用が有効ではないでしょうか。

今、書写の授業の中でも活用が進んでいて、授

子どもたちに文 ~デジタル教科書

お ぎ や す し
尾崎靖二

交野市教育センター勤務。教育委員会指導主事、
四條畷市・交野市で小学校長。中央教育審議会
教科別専門部会(国語)委員、学習指導要領解
説国語編作成協力者などを歴任。

宮本

業風景が大きく変化しようとしています。子どもたちは、ICT機器を活用している場面ではとても生き生きしています。実は、子どもたちは我々大人よりもそれらの扱いに慣れているという側面もあるので、近い将来はそうした技術抜きでは授業が成り立たない時代が来るかもしれません。

今おっしゃったデジタル教科書は、書写の指導効果を高めています。たとえば毛筆指導の場合、筆使いの動画を活用すれば、穂先の動きや点画のつながりをはっきりと提示できます(※)。

尾崎

毛筆指導での動画の活用は、特に効果的ですね。筆の入り方だとか筆圧だとか、全てがコンパクトにその中に含まれていますから。途中で止めたり戻したり、ループ再生を使って同じ点画の書き方を繰り返し見たりすることもできます。教室で子どもたちが書いている時にずっと流しておけば、子どもたちが書いている途中でわからない部分に直面したとき、自分の目で確かめることができます。また、「点画ピース」は多忙な先生方の教材づくりを助けてくれます。一画ずつ操作することで、文字の形や筆順、画と画の接し方、紙面への文字のおさめ方などを認識できます。「ペンツール」といったものも中心線や補助線を自在に引いたり消したりできるので便利です。

目的意識をもった活用を

尾崎

デジタル教科書は、これから更に授業のICT化が進む中での先駆けとなる教育機器だと思うので、現場では積極的に使っていただきたいですね。ただし、常に一方的に先生が主導して使うという

宮本

ことだけではいけません。

そうですね、結局、何のためにデジタル教科書を活用するのかということを先生方がきっちと意識する必要があります。例えば、筆の使い方を意識させるのか、または文字の形を組み立てるところに意識させるのか、あるいは子どもたちに思考力を身につけさせるために使うのか。使う目的と、それを授業のどこで活用するのかということをしっかり意識することが、教材を活かすコツになるんじゃないかと思っています。

尾崎

授業にデジタル教科書が取り入れられ、指導の形態も変化しつつありますが、先生方には「たかが文字、されど文字」ということをぜひ肝に銘じて、文字の大切さを伝えていただきたいです。書写の授業は、実は全ての教科を支えているんだという自負をもって指導にあたってほしいと思います。



※「カザスマート」を起動して、かざしてください。
筆使いの動画を見ることができます。